

KIUパラスポーツトークライブ 「困難をプラスの力に」

実施背景

神戸国際大学は公益財団法人日本パラスポーツ協会公認「中級障がい者スポーツ指導員資格」取得認定校であり、これまで多くの同学学生が兵庫県下・神戸市内のパラスポーツ関連行事にボランティアやスタッフとして参加している。また、大学主催で地域住民向けにイベントを開催するなど、パラスポーツを通して積極的な地域交流を行ってきた。

目的(地域課題の解決など)

地域における各種障害理解の向上とパラスポーツ普及を目的とした大学のパラスポーツ資源を活用した施策として、兵庫県を代表するパラ卓球のパラリンピアン、別所キミエ選手を大学にお招きし、講演会と競技体験会を合わせたワークショップを開催した。

取り組んだ具体的な施策

KIUパラスポーツトークライブ「困難をプラスの力に」

KIUパラスポーツトークライブ「困難をプラスの力に」は令和4年12月10日神戸国際大学ミカエルホールで開催された。第1部のスペシャルトークショーでは、別所キミエ選手とインタビュアーの増田和茂氏による対談形式で進行。アスリートとしての心境や国際大会での経験談、各種メディアに出演した際の思い出話などの輝かしい実績のエ

ピソードから、自身に降りかかったスランプやアクシデントへの向き合い方、それを乗り越えた経験までが語られ、別所選手がいかにして困難をプラスの力に変えてきたかが語られた。

第2部の「競技体験&デモンストレーション」では、実際に別所選手の指導による車いす卓球体験会が開催された。



まずは別所選手による競技デモンストレーションが行われた。正確なラケット捌きから繰り出される強烈なスマッシュ等を実際に生で目にした参加者からは大きな拍手が送られた。中でも数多の世界の強豪を制してきた別所選手の得意技である「バタフライショット」と呼ばれる巧妙なショットには大歓声があがった。

ワークショップに参加した学生の一部から、地域におけるパラスポーツの普及などの活動を自ら企画運営するための学生団体設立の申請があり、2023年1月に大学学生支援センターより認可された。理学療法学科生を中心に8名の部員で構成され今回のようなパラスポーツイベントトークライブの開催や、大学内外におけるパラ競技の体験会の企画などを主な活動として計画していくという。一度のトークライブが学生の新しい活動につながったのは大きな成果と言える。



結果と今後の展望

各種メディアへの登場機会も多く、幅広い年齢層の支持者を抱えるパラ卓球の別所キミエ選手をゲスト招いたことで、地域住民と本学学生併せて56名の参加があった。イベント来場者に対して実施したアンケート調査では、各種障害理解とパラスポーツについての理解が深まったとの回答は全体の約94%、実際にパラスポーツに関わるとこへの意欲が向上したとの回答は約84%となった。

協力・連携団体

・公益財団法人兵庫県
障害者スポーツ協会



担当者の声など詳細は
事業MOVIEをチェック！